

智頭町 森林組合だより

平成25年12月 No.14



もくじ ☆☆☆☆☆ CONTENTS

- ▲ 森林・林業講演会の開催 (1)
- ▲ 役員先進地研修について (2)
- ▲ 地区座談会開催のお知らせ (2)
- ▲ 安全衛生研修会開催 (3)
- ▲ 原木市況 (3)
- ▲ 林業部門で2名が知事賞を受賞 (4)
- ▲ 鳥獣対策について (4)
- ▲ 智頭町長・議会議長に予算等要望 (5)
- ▲ 境界明確化事業について (5)
- ▲ 智頭中学校改築シンボル (6)
- ▲ 鳥取式作業道の開設 (6)

組合員数	1, 179名
理事	16名
監事	3名

[森林・林業講演会の開催]

11月9日(土)、智頭町保健・医療・福祉総合センターほのぼのので、鳥取県県産材・林産振興課村上哲朗課長と、女優で林政審議委員でもある葛城奈海さんを講師に迎えて、森林・林業講演会を開催しました。当日は森林所有者、林業関係者を初めとする参加者約120名で会場は満員になりました。寺坂安雄組合長の挨拶のあと、村上課長が鳥取県の森林・林業政策について現状とこれから目指すべき方向性について話されました。

葛城さんは、自分の森との関わり、今まで行った森林活動や印象に残った事業体、後継者育成を初めとする林業についての今後の課題と対策について、自身の体験談を交えながら分かりやすく話されました。智頭町森林組合主催の講演会は今回初めて開催しましたが、参加者からは「次は木材の流通や住宅メーカー等の話も聞きたい」「今後も様々な角度から、今必要なことについての講演会を開催してほしい」など、次回開催を望む意見も寄せられました。



挨拶をする寺坂安雄組合長



講師の葛城奈海さん



質問される参加者

役員先進地研修について

7月2日・3日の両日、役職員21名で、かつては智頭林業の師と言われた吉野林業地の奈良県吉野町ならびに川上村を視察訪問しました。

今回の研修は、智頭林業の再生に向け、先進林業地の取り組みと木材製品の販売拡大等の参考にしたいとの思いで実施しました。

吉野川中流に位置し、「吉野材センター」として今なお60余りの工場が操業している木材加工団地では、各工場が樹種別、製品別に分業化しており、熟練された製材技術者による付加価値の高い高品質材づくりに努めていると感じました。また、吉野川の上流に位置する川上村では、村外への山林所有者の移行に伴い、山林所在の地域住民の中で委託を受けた「山守」が山林経営を行なう山守制度と急傾斜地でのヘリコプター集材を学びました。

従来より、無節・完満・年輪幅の均一という良材で名声を馳せてきた吉野林業ですが、必ずしも近年の社会・経済情勢の変化に対応できていないというのが現状のようです。これは「智頭林業」にもいえる課題であり、歴史を大切にしながら、時代の流れに合った林業を振興することが大切なことと思われました。



恒例の地区座談会を2月に下記の日程で予定しております。

森林組合の業務の取組、経営計画の策定、林業の各種補助制度などを説明し、意見交換をさせていただきたいと思っております。

是非、多くの組合員の参加をお願い致します。

日 時	地区	会 場
平成26年2月5日(水) 9:30~	土師	土師公民館(旧土師小学校)
2月5日(水) 13:30~	山形	山形公民館
2月6日(木) 9:30~	富沢	富沢公民館
2月6日(木) 13:30~	智頭	産業会館2階
2月7日(金) 9:30~	山郷	山郷公民館
2月7日(金) 13:30~	那岐	那岐公民館(旧那岐小学校)

安全衛生研修会開催

現場の安全を願って、この度、安全衛生研修会を開催しました。

近年、森林組合では大事故はないものの、労務災害が多い状況にあり、ゼロ災害を目指し、今年6月から「安全は何物にも優先する」とのスローガンの下、安全管理体制の確立、作業標準の点検、リスクアセスメントの導入などを実施してきました。



今回の研修では、道路・現場の積雪、凍結への対応、樹冠雪落下の対策等の冬期間の災害防止対策を協議しました。現場毎のKYT（危険予知訓練）と共に作業班を代表して中野靖宏班長が、「無災害、健康で安全に作業する」決意の安全宣言を行いました。

また、12月から外部の方の安全パトロールをお願いし、安全対策を強化することとしております。



加工センターのKYT状況

原木市況(第45回石谷市場記念市から)

平成25年10月18日 石谷林業(株)市場で第45回記念が開催されました。出荷量1,740m³、杉材の高値材は長さ4.0m、末口58cmの材で杉単価120,000円/m³、ヒノキ長さ6.0m、末口50cmの材で560,000円/m³で取引されました。

今回の市は、並材も含め価格は全体的に上昇しております。これからの価格動向は、見通しがたてにくい状況にありますが、冬季になることから製材所が材の確保に向けて買いが強くなり、価格も少し安定していくのではと期待しています。

チョット一服

今回の記念市の呼びものとして、指定した材の価格を当てるアトラクション(HOW MACH)がありました。

どうしたことが、当組合の寺坂組合長がニアピン賞(投票価格が石谷林業(株)の設定価格に最も近い賞)を獲得



優良出荷、買上者の感謝状を受賞しました。

平成25年10月22日知事公邸で開催された平成25年度鳥取県優秀農林業者等表彰式で、智頭町大背の大谷訓大さんと芦津財産区議会が知事表彰をうけられました。すばらしい取組に対する受賞のお慶びと今後のご活躍をお祈りしております。



大谷訓大さん（大背）



芦津財産区議会
（綾木章太郎議長）

丈夫で持続的に使用できる作業道を開設して、間伐と作業道を活用した間伐材の搬出に取り組んでおられます。

「自分たちの山は自分たちで守る」を合い言葉に、自らの手による間伐集材・出荷販売まで行っています。

智頭町山村再生課 大原林農振興室長にインタビュー

Q 生息状況はどうか？

A 県内では、氷ノ山山系など東部を主な生息場所としておりますが、近年は、生息域や個体数が広がっております。

Q 被害はふえていますか？

A はい。植えたスギ・ヒノキや小さい広葉樹の枝葉を食害するほか、樹皮も食べて枯死させることも有ります。農作物にも被害が有ります。

Q どのくらい動くか、生態は分かっていますか？

A 行動域は2平方キロ程度で、ジャンプ力は1.5mは有ります。5月から7月頃に出産し、イノシシと違って1回に1頭生まれます。

オスの寿命は6歳程度とされています。



丁寧な答えの大原室長

Q 被害防止はどうすればいいですか？

A シカの進入を防ぐ進入防止柵の設置や餌となる誘引物をおかないことです。また、捕獲をすることが大切です。なお、進入防止柵の設置や捕獲を希望される場合は役場に照会してください。

智頭町長・議会議長に予算等要望

寺坂組合長、酒本総務委員長、小川事業委員長（町長要望は植木副委員長） 河村加工委員長が「平成26年度森林・林業予算について」寺谷町長、谷口議長に要望致しました。

- {要望内容}
- 間伐等の森林整備の加速化
 - 森林の境界明確化・地籍調査の推進
 - 「本物の智頭杉」打って出る施策の推進
 - 若手後継者の育成



寺谷町長（11月14日）に要望



谷口議長（11月20日）に要望



境界明確化事業について

9月には中原東谷団地、10月には米原団地にて、森林の境界明確化事業による境界立会を実施しました。

この事業では、山離れにより境界がわかりにくくなった地区を取り上げ、地区内外者の山林所有者へお声をかけ、境界の確認をするとともに、現状を知って頂き、再び山へ目を向けて頂くことがこの事業の目的のひとつです。こういった事業を利用しながら、森のもつ恵みを感じ、また先祖より引き継がれてきた資源を守っていかせらと感じています。

「中原東谷団地」境界立会状況



「米原団地」境界立会状況



智頭中学校改築シンボル「智頭杉・大径木」

智頭町より改築にかかる大径木の丸太材伐採加工業務を受託し、町民の方の有志によりご提供頂いた杉目通り7尺～7尺5寸（胸高直径約70cm～80cm）長さ10mの大径木約20本の伐採、加工を慎重に取り組んでいます。

新しい中学校が、智頭材をふんだんに使い、教育のシンボルとなり、生徒の学舎としてまた、智頭林業のこれからの活性化を期待しながら、完成すれば町内外に智頭杉の素晴らしさをこれまで以上に「PR」できると思います。



～久しぶりに鳥取式作業道の開設をして～

森林組合作業者

経営計画推進課低コスト林業担当 岡田昭史係長

鳥取式作業道は、低コストで、壊れにくい道と言うことで、何年前に、講習を受けましたが、久しぶりに県有林で、バックホーに乗り作業道を開設しました。

「鳥取式作業道の特徴は」

- 山の地形をしっかりと把握し、安全なルートの設定をする。
- 伐開幅、切土、盛土は必要最小限にする。
- 盛土は、下層から順に盛土全体を入念に転圧する。
- こまめに、確実な方法で、安全な箇所へ排水する。



実際に開設してみると、当然のことであるが雨の日に開設をすると、後の始末が大変になると改めて感じました。また、全切、全盛でしっかり転圧をし、細目に排水を適切な場所で行えば、崩壊しにくい丈夫で壊れにくい良い道が出来ると思います。これからも、講習を思い出しながら、経験を積んで、森林組合員の皆様に喜んで頂けるような道づくりに努力したいと思います。

『編集後記』

冬の訪れと年の暮れを感じる季節となりました。

今回は、初めての試みで、森林・林業講演会を開催し、町内外から約120名の方に参加していただきました。また、林業の抱える課題は、盛沢山ありますが、組合員の皆様のご理解とご協力を得ながら各事業を活用し円滑に進めていきたいと思えます。

そして、智頭中学校の改築も平成26年度末完成に向けて着々と建設が進んでいます。さらに、智頭材の普及にも県内外を問わず努めていきたいと思えます。

今後も組合員の皆様のご意見、ご要望をお寄せいただき役職員一同、組合運営に尚一層努めて参ります。

最後に、今年1年ありがとうございました。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

【編集長 西尾】